

シンガポール取引所(SGXL)

MSCI 指数関連ライセンスの香港への移管に伴う減収懸念に対し、英 FTSE ラッセルとの提携拡大などで対応
 シンガポール | 証券・商品先物取引 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG SGX:SP | REUTERS SGXL.SI

- 2021/6期1H(7-12月)は、営業収益が前年同期比8.8%増、営業利益が同7.3%増、純利益が同12.4%増の増収増益だった。
- 通貨先物の取引枚数減、および株式デリバティブのFTSE指数新プロダクト移行に係る収益減があったが、昨年の買収2件が増収に貢献。
- MSCI指数関連ライセンスの香港取引所への移管に伴う減収懸念に対し、英FTSEラッセルとの提携拡大のほか、デジタル証券プラットフォーム「iSTOX」支援、デジタル資産インフラ構築を進めている。

What is the news?

1/22発表の2021/6期1H(7-12月)は、営業収益が前年同期比8.8%増の5.20億SGD、営業利益が同7.3%増の2.72億SGD、純利益が同12.4%増の2.39億SGD。中間期の1株配当も同7%増配となった。中国市場へのアクセスとリスク管理需要の高まり、アジア全域に先行拡大していたデリバティブ商品の成功のほか、昨年1月に買収した指数プロバイダーのScientific Beta社および昨年7月に買収した通貨先物のBidFX社が業績に貢献した。

セグメント別の営業収益は以下の通り。①債券、および通貨・コモディティに係るデリバティブ事業は、前年同期比17.0%増の9,920万SGD。その内、債券が同3.1%増、通貨・コモディティに係るデリバティブが同18.1%増。通貨先物の取引枚数は減少したものの、コモディティ先物の取引枚数増および昨年7月に買収したBidFXが増収に貢献した。②現物株式及び株式デリバティブ事業は、同2.8%増の3.50億SGD。その内、現物株式が同14.0%増の2.01億SGDだったが、株式デリバティブが同9.3%減の1.49億SGD。現物株式はトレーディング・決済、証券決済および預託管理、および財務・その他が増収だった一方、株式デリバティブは取引枚数が増加したが、従来のMSCI指数からFTSE指数の新プロダクトへの移行に伴う指数算出会社からの紹介手数料収入が減少した。③時価データ・接続および指数事業は、同34.9%増の7,070万SGD。その内、市場データおよびインデックス関連収入が同85%増の3,960万SGD、接続に係る収入が同横ばいの3,120万SGD。2020年1月に買収した指数プロバイダーのScientific Beta社が増収に貢献。同社を除けば同100万SGD増にとどまった。

How do we view this?

2021/6通期の会社計画は、総費用が5.35-5.45億SGD、資本的支出が5,500-6,000万SGDと従来計画を据え置き。米情報サービスのMSCIよりシンガポール以外のMSCI指数関連デリバティブ商品のライセンスの香港取引所への移管に伴う減収の懸念に対し、同社はロンドン証取グループの指数算出会社のFTSEラッセルとの提携拡大での対応を進めている。それに加え、デジタル証券発行・取引プラットフォームの「iSTOX」の支援のほか、1/22に政府系投資会社のテマセク・ホールディングスと数ヵ月以内にデジタル資産のインフラを構築するためのパートナーシップ契約締結を発表するなどフィンテック新分野の開拓に取り組んでいる。

業績推移

※参考レート 1SGD=78.13円

事業年度	2018/6	2019/6	2020/6	2021/6F	2022/6F
営業収益(百万SGD)	844	909	1,052	1,071	1,114
当期利益(百万SGD)	363	391	471	457	474
EPS(SGD)	0.34	0.36	0.44	0.42	0.44
PER(倍)	29.56	27.92	22.84	23.70	22.79
BPS(SGD)	1.02	1.02	1.16	1.27	1.38
PBR(倍)	9.85	9.85	8.66	7.91	7.28
配当(SGD)	0.30	0.30	0.30	0.33	0.34
配当利回り(%)	2.99	2.99	2.99	3.28	3.38

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD) **0.33** (予想はBloomberg)
 終値(SGD) **10.05** 2021/1/25

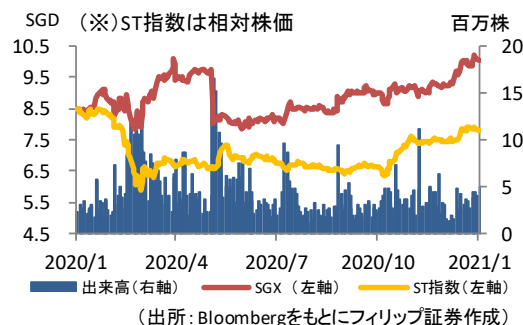
会社概要

1999年設立。アジアを代表する資本市場インフラであり、取引所やクリアリングハウスの所有、運営を行っている。株式、債券からデリバティブ商品までマルチ・アセットに対応しており、上場から取引、清算、決済、保管およびデータサービスまでに至る、総合的なサービスを提供している。上場株式の40%がシンガポール国外の発行体のものであるほか、上場公社債の80%が国外で組成されたものであるなど、国際化が進んでいる取引所である。

同社は、①債券、および通貨・コモディティに係るデリバティブ事業、②現物株式及び株式デリバティブ事業、③時価データ・接続および指数事業の3事業セグメントから構成されている。

企業データ(2021/1/26)

ベータ値 0.63
 時価総額(百万SGD) 10,755
 企業価値=EV(百万SGD) 10,385
 3ヵ月平均売買代金(百万SGD) 32.7



主要株主(2021/1)

(%)

1.ブラックロック 2.53
 2.VANGUARD GROUP 2.43
 3.ALLIANCE BERNSTEIN 1.79

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

シンガポール取引所(SGXL)

2021年1月26日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。